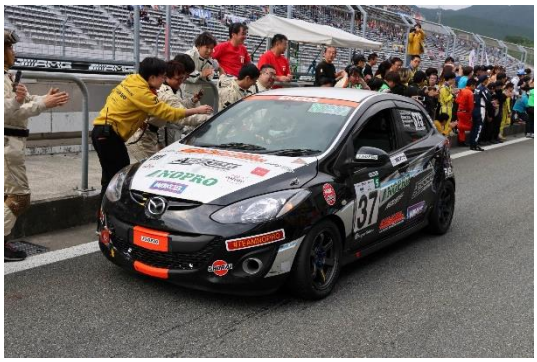
MEDIA INFOMATION
2023/07/05

TEAM NOPRO　Race Report (Rd.2)



ENEOS スーパー耐久シリーズ 2023　第 2 戦　NAPAC 富士 SUPERTEC 24 時間レース		
開催日	2023/5/26(予選)27～28(決勝)	
開催地	富士スピードウェイ　(4.563km)	
#17	DIXCEL アラゴスタ NOPRO デミオ　(DJ5FS 型・ディーゼルエンジン)	
A:西澤嗣哲　B:大谷飛雄　C:小西岬　D:野上敏彦　E:山本浩朗　F:上松淳一		
予選:クラス 2 位(合算タイム:　4:15.169)		決勝:クラス優勝　(594 周)
#37	DIXCEL ワコーズ NOPRO デミオ　(DE5FS 型・ガソリンエンジン)	
A:小倉徹　B:野上達也　C:加藤芳皓　D:井上雅貴		
予選:クラス 10 位(合算タイム:　4:20.347)		決勝:クラス 8 位　(574 周)

シリーズ第2戦にして1年のハイライトとも言える大イベント、富士24時間も2018年の開催から6回目を数えます。

TEAM NOPRO は、17号車は大会2連覇を目指し、レギュラー4名に加えて昨シーズンも参戦した山本浩朗選手、上松淳一選手の2名が合流。
37号車は新たにチームに合流する事となった小倉徹選手を A ドライバーに、そして助っ人ドライバーとして2021年に17号車をドライブしていた井上雅貴選手が合流し4名体制で24時間レースに挑みます。

【5/25(木)　練習走行　天気:晴れ　路面:ドライ】
開幕前、そして4月末に行われた公式テストでトップタイムを残している17号車は、改めて各ドライバーが車両セット等をチェックしながら周回を重ねますが、タイム・手ごたえともに十分･･･といった1日となりました。
37号車は4月末の公式テストからエンジン周りをさらにアップデート、それが実を結んだ手ごたえを得られました。
S耐初参戦となる小倉選手もロードスターカップ等で富士スピードウェイの経験は十分、不安なく周回を重ねます。

【本リリースについてのお問い合わせ】 有限会社ノガミプロジェクト　Mail:demio.st@nopro.jp

MEDIA INFOMATION
2023/07/05

TEAM NOPRO　Race Report (Rd.2)

【5/26(金)　予選　天気：晴れ　路面：ドライ】

24時間レースのスタート位置がどこまで重要かという面はある物の、まずは Aドライバー予選にて西澤選手が2分7秒5を記録、50号車の大井選手が1秒速いタイムを記録した事からトップタイムは逃すもクラス2位につけます。
Bドライバーの大谷選手も2分7秒6を記録。こちらもクラス2位へ。合算した結果は、コンマ4秒足らずクラス2位。
「あと少しでポールポジション」という気持ちもありつつ、好位置からスタートする事となりました。
一方の37号車は、Aドライバー予選で小倉選手が2分9秒7を記録し、フィット2台を凌駕しクラス9位。Bドライバーの野上達也選手は2分10秒6に留まるも、合算した結果はクラス10位。しかも9位とはコンマ1秒差という僅かな差でした。

【5/27(土)～28(日)　決勝　天気：晴れ　路面：ドライ】

17号車は大谷選手、37号車は井上選手がスタートドライバーを担当。17号車は1スティントずつ交代していくプラン、その一方で37号車は井上選手のスティントのみ2回連続のWスティントとする事でペースアップを狙います。
大谷選手は17号車を2周目の1コーナーでトップに浮上、50号車・4号車・88号車とトップグループを形成し周回を重ねます。その後方で井上選手は好スタート、クラス7位で周回を重ねていきます。
他のクラスも含め、序盤は大きな動きも無く、淡々としたレース展開で進み日没を迎えました。

レースが動いたのは19：30頃。トップ集団から88号車ロードスターがトラブルで後退、その後　他クラスのクラッシュから長いSCが入った事でチームによって作戦が変わっていきます。
レース開始から4～5時間とレース前半のタイミングながら、72号車ロードスターほか、複数のチームが規定されている10分ストップ・メンテナンスタイムに入ります。 これにより、17号車はトップを走ることになりますが、いずれ消費しなければイケナイ10分（約4周）の『見えない敵』との戦いが始まります。
一方37号車はナイトセッションを迎える頃にはクラス6位をキープ、一時は5位を争うシーンもありましたがゼッケンライトが不点灯になるトラブルに悩まされます。0時頃から入った2度目のSCが入った後のピット作業時にゼッケンライトの修復を指示されてしまいイレギュラーなタイミングでメンテナンスタイムを使用する事になります。
準備を整えられないまま作業が始まり合計で20分ほどピットに留まり大きくタイムロス。クラス10位にドロップ。
完走を目指しまだまだ残りレース時間は長いので１つでもポジションを回復すべく走行します。
17号車はレースをリードしつつ、メンテナンスタイムのタイミングを探りますが、3：30頃にST4クラスの車両でクラッシュがあった事に反応しメンテナンスタイムを決断。 さらに作業中に赤旗が提示され、大きなアドバンテージを得ました。
5：00にレースが再開されると17号車は2位に2周の差をつけトップをキープする事に成功。37号車は自力で9位に浮上した3周先を行くライバルをひたすら追いかける展開。
トップをキープする17号車だが、今年は順風満帆とはいかず、翌朝10時ごろあたりからミッショントラブルが発生、3速ギアを失ってしまう。 しかし、幸いな事にコース内で3速を使用する場面は少なく、ディーゼルの低速トルクを生かし、4速5速ギアで走らせ、ラップタイムは多少落ちる物の、症状が進まない事を信じ、そのままゴールを目指しました。

【本リリースについてのお問い合わせ】 有限会社ノガミプロジェクト　Mail：demio.st@nopro.jp

MEDIA INFOMATION
2023/07/05

TEAM NOPRO　Race Report (Rd.2)

17号車は最後の約1時間をチーム代表でありDドライバーの野上敏彦が乗り込み、野上達也のドライブする37号車と連なり、マシンを労わりながらクラストップでチェッカーをくぐり、昨年の大会に続く富士 24 時間レース・クラス2連覇を飾り終了する事となりました。
37号車も3周差あったライバルとの差をもうすぐ同ラップ･･･というところまで追いつめるがタイヤカスが原因でリアバンパーが外れ、最終的にオレンジディスクが提示されてしまったためピットインで追い上げもここまで。 しかし、その後上位車両でトラブルを抱えた車両があり、悲喜交々の24時間レースの順位を8位に上げてチェッカーとなりました。

【野上敏彦　チーム代表・#17・Dドライバー】
「デミオ・ディーゼルを参戦させて8年、色々なハードルを越えながら今回富士24時間レースでクラス2連覇、通算3勝目を得る事ができました。 TEAM NOPRO に関わった多数のドライバー、メカニック、エンジニア、ヘルパー他の全員の思いが TM トラブルの中、運を引き寄せてくれました。 ありがとう御座いました。 引き続き宜しくお願い致します。」

【西澤嗣哲　#17・Aドライバー】
「昨年に引き続き優勝という最高の結果で終わることが出来ました。
今年はシーズンを通してエントリーしていますので、最終目標のシリーズチャンピオンまで一歩前進というところです。
次戦以降も着実に結果を積み上げていきたいと思います。」

【大谷飛雄　#17・Bドライバー】
「今年から加入した小西選手の頑張りも大きかったと思います。
2連覇はなかなかできることではないのでとても嬉しいです。チームの判断も素晴らしく、全てが噛み合った優勝と感じています。去年の忘れ物を取りに残りのレースも頑張りますので引き続き応援よろしくお願いいたします。」

【本リリースについてのお問い合わせ】 有限会社ノガミプロジェクト　Mail：demio.st@nopro.jp

MEDIA INFOMATION
2023/07/05

TEAM NOPRO　Race Report (Rd.2)

【小西岬　#17・Cドライバー】
「初の24時間レースでしたがチームの雰囲気も良くクルマの仕上がりもバッチリだったのでリラックスして挑みました。
3速を失った時は頭が真っ白になりそうでしたが、チームと大谷さんが長年掛けて仕上げたデミオでなんとしても勝ちたくて労わりながら必死で走って結果的に勝てて安心しました。」

【山本浩朗　#17・Eドライバー】
「昨年に引き続き助っ人ドライバーとして参戦しクラス二連覇に貢献する事が出来ました。
このような機会を頂いたチーム及び関係者に感謝致します。
シーズン残りを首位で逃げ切り待望のシリーズチャンピオンを掴める事を祈っています。」

【上松淳一　#17・Fドライバー】
「まず、野上さんはじめとするチームノプロの皆さん今年もありがとうございました！
24時間2連覇！安定して速い車両があり、ドライバー全員が信頼しあって、メカニックとの連携が上手くいってこその結果だと思います。最高のチームで耐久レース出れて幸せで～～す！」

【小倉徹　#37・Aドライバー】
「スーパー耐久、富士24時間とも初参加でしたが、チームの皆さんのおかげで緊張する事なくレースにのぞめました。
先輩ドライバーの方にも色々教えていただき無事に走り切る事ができました。そしてNOPROファン、デミオファンの皆様本当にありがとうございました。」

【野上達也　#37・Bドライバー】
「無事に37号車をチェッカーまで走らせ、17号車2連覇と2台でチェッカーを受ける。ドライバー目線メカニック目線ともに上手くいったレースでした。
37号車の緊急メンテナンスタイムのバタバタと、終盤の17号車のトラブルには冷や冷やしましたが。
昨年は2012年から戦ってきたDEデミオを全損させてしまい、その次のSUGOより導入した新37DEデミオも昨年から改良を重ね速さをつけてきました。今シーズンの残りのレースもシングルフィニッシュを基本としたレース展開ができるよう頑張ります。」

【本リリースについてのお問い合わせ】 有限会社ノガミプロジェクト　Mail：demio.st@nopro.jp

TEAM NOPRO　Race Report (Rd.2)

【加藤芳皓　#37・Cドライバー】
「今回もたくさんの応援ありがとうございました。DE 型デミオとしては、最近はなかなかトップ 10 入りも叶わなかった状況でしたが、ようやくセカンドグループに入れる速さを手に入れることができました。
それだけに日曜未明のタイムロスが悔やまれますが、8 位という結果にとてもポジティブな気持ちを持てました。
次戦以降も特に DE デミオファンの皆さんの期待に応えられるよう精一杯走りたいと思います。」

【井上雅貴　#37・Dドライバー】
「皆さま、TEAMNOPROを応援してくださり、ありがとうございました。
私はNOPROからS耐に参戦するのは2021年以来になりますが、急遽今回の24時間レースに参戦することになったにも関わらず、快く迎えてくれたチームの皆さんにも感謝しています。
今年の24時間レースでは37号車は8位という結果となりましたが、第一線から引退したDE型デミオが大きなトラブルもなく、力強く完走できたことに、マツダ車の強さと長年耐久レースを戦ってきたNOPROの強さを実感しました。
また、Aドライバーの小倉選手のアジャスト能力の高さもシングルフィニッシュが出来た要因だと考えています。
2021年のシーズン中にシェイクダウンをした17号車が優勝できた姿も見ることができて、私にとって貴重な24時間レースとなりました。
残りのレースも続きますので、引き続きTEAM　NOPROの応援を宜しくお願いいたします。」

【本リリースについてのお問い合わせ】 有限会社ノガミプロジェクト　Mail：demio.st@nopro.jp